

## 生活

生活にナニカト役立つ連載コラム  
「つぶやき」がんちゃん」の  
知恵袋  
Vol.22



## 今日のテーマ

## 二大固定費の削減“医療保険編” 入院費用のいろいろ



### 今月のつぶやき

医療保険(入院保障)に加入する際に、入院すると“何の費用がどれだけ”かかるかをシミュレーションされているでしょうか…!?しよっちゅう入院しているから慣れていて良く判っている”なんて方は多くはない筈だ。

これまで、医療費の自己負担限度額に関しては解説したが、今月は治療費の他に、「負担すべき費用はどんなものがあるのか」をしっかり押さえておこうと思う。それを知らずしての、適正な入院保障の設定金額は考えられない。

これまでの相談者の中で、あっちこちと契約されている入院保障を合計したら、1日あたりなんと84,000円もあった方がいた。もし、30日間入院すると、なんと252万円も貰えることになり、入院していた方がずっといい稼いだ。♪大きいことはいいことだー♪という歌のくだりがあったがデカけりゃ良いってのもんでもない。保険料負担も当然に眼球が飛び出るだけ払っていたことは言うまでもない。新規に加入する際のチェックはどうなっていたのだろうか!?もっとも、チェックされていればこんなことにはならなかったと思うのだが…。生命保険はマイホームの次に高いと言われていて、その高い買い物なぜこれまでに無防備に加入されているのだろうか…!?

ついでといちゃあなんだが、生活費のコストには住宅やマイカーの経費を始め、ついこの間まで存在しなかった携帯電話の費用は、既に不可欠な存在として、家計支出の中に我が物顔でどーんと居座っている。ここまで生活の中に入り込むと、手放すことは出来ないだろうし、延々とその支出は続いて行く。その分貯蓄が減ったり、使えるお金が少なくなっているはずだ。それでなくても、高コストになっている最近の生活費、もう少し真剣に節約(無駄の削除)に取り組んで欲しいものだなあ。

少しの時間を使うだけで、その効果は絶大なものとなるのだから…!

生活知恵袋

入院時の食事の自己負担  
入院期間中の食事の費用は、健康保険から支給される入院時食事療養費と入院患者が支払う標準負担額でまかなわれる。平成18年3月までは1日単位となっていて、治療内容によっては3食のすべてを摂れない場合でも、1日分780円(一般の場合)を負担しなければならなかった。しかし、現在は1食単位260円(一般の場合)に改善された。しかし、これを高いとみるか安いとみるか…!?

市民税課税世帯(一般)	260円
市民税非課税世帯	90日目まで 210円 90日超(過去1年間の入院) 160円

某弁当屋さんでは「のり弁当」でも290円であるから、一見安そうに見えるが仮に1か月間3食を食べると290円×30日=8700円となる。これが家庭での一人分の食費に置き換えたら意外に高いと思いませんか…!?  
4人分だと9万3600円にもなる。4人家族の1か月分の食費が9万3600円だとしたら、相当な豪華さだ。

一生懸命  
つぶやきます

プロフィール  
さいとう ひろかつ  
齋藤 廣勝  
ファイナンシャルプランナー  
つぶやきがんちゃん  
株式会社  
トータルライフサポート代表取締役

■CFP®サードファイドファイナンシャルプランナー  
■1級ファイナンシャルプランニング技能士  
■日本商工会議所 年金・退職金等認定講師  
■住宅ローンアドバイザー

## 保険と暮らしの相談センター

お気軽にご相談ください。

- 家計の管理 ●お金の運用
  - 保険やローンの選択・見直し
  - 年金 ●教育 ●住宅、相続etc…
- 皆様の生活設計をより良いものにするためのお手伝いをいたします。

無料相談会  
受付中! 好評

保険と家計の  
まるごと診断致します。

株式会社  
トータルライフサポート  
〒010-0916 秋田市東北3丁目17-22  
●営業時間: 9:30~19:00 ●定休日: 水曜日  
☎018-827-7611  
☎018-827-7610  
☎http://tls-akita.co.jp



## 差額ベッド費用

差額ベッドの正式名称は「特別療養環境室」といい、通常6人部屋などの大部屋の場合では入院費に含まれるが、「大部屋は嫌なので個室にしたい」となると、個室を希望する患者には差額ベッド代を徴収しても良いことになっている。しかし、差額ベッド代を徴収するには左の4つの条件を満たしている必要がある。

- ①1室に4床以下であること  
(最近では4人部屋が標準で差額ベッドの負担はない場合が多い)
- ②1人当たりの面積が6.4㎡以上であること
- ③ベッドごとにプライバシーを確保する設備(仕切りカーテン可)があること
- ④個人用の私物収納設備、照明、小机、椅子等があること



料金次第では、バス・トイレ・電動ベッド、電話器・冷蔵庫などが設置されていることもある。差額ベッド代は当然に健康保険がきかず、高額療養費制度や医療費控除などの対象にもならない。全額自己負担になるので注意が必要だ。

## 差額ベッドの相場

差額ベッドの金額は自由に設定しても良いことになっているため、その金額や設備の内容は病院によって大きく異なる場合がある。大して良い部屋でもないのに高額な料金を取られたり、設備の割に格安な料金だったりする。実際に見てみると、2〜3千円のところもあれば、1日数万円もする高級な特別室であるが、秋田県における個室の相場は5000円位とみていいだろう。ちなみに、術後などに入るICU(集中治療室)はこれとは違う。

## 諸雑費(テレビ、冷蔵庫等)の使用料

細かいものが束ねてみると結構高い金額となる。パジャマに関しては以前は持参していた時期もあったが、最近では衛生上の問題もあって禁止しているところもある。そうじやないにしても、ほとんどがレンタルされているようだ。安いところでは1日50円、高いところでも1日200円位のようにだ。

意外にバカにならないのがテレビの利用料だ。殆どの場合プリペイドカードを購入して利用するが、10000円のカードでみられる時間は12時間、15時間位が多いようだ。暇なためについついつけっぱなしとなると、あれよあれよという間にカウントダウン。タクシーのメーター程でないにしても、あの減り方は心臓に良くない気がする。冷蔵庫も同様、最近はお金がプリペイドカード式になっているようだ。どちらにしても、必要なものだけに入院時にはかかるものとして計算に入れておかなければならない。

以上の費用を合計し、アバウトではあるが1日当たり、少なくとも1000円は計算に入れたものだ。

## 入院費用のミニマムバージョン

入院時の費用を合計してみると、下の表のようになるが、これはあくまでも試算であり参考にしていただきたい。個室を利用されない場合や、所得の減少の無い方、逆に自営業者などのように傷病手当金の無い方は、その結果は大きく異なるので、それぞれの状況に合わせた調整していただきたい。

入院の種類	10日間の入院 治療費総額 30万円を仮定	20日間の入院 治療費総額 50万円を仮定	30日間の入院 治療費総額 100万円を仮定
治療費 (自己負担限度額) 月はまたがないと想定	80,430円	82,430円	87,430円
食事負担金	7,800円	15,600円	23,400円
個室利用料	50,000円	100,000円	150,000円
諸雑費	10,000円	20,000円	30,000円
所得の減少額 (概算)(※1)	(44,000)円	(72,000)円	(100,000)円
費用合計 (1日当たり)	192,230円 (19,223円)	290,030円 (14,500円)	390,830円 (13,028円)

(※1)月給25万円の方で、給与の支払いがない場合の健康保険での傷病手当金

私事ではあるが、以前に特別室(個室)に入院したことがあるが、食事内容はトレーの色で区別しており、食事の内容も違うそう。何がどう違うかは分からないが、余談ではあるが、夕食に枝豆がついてきたので、これを食べるには、つきものと言え生ビールが必要だ」と要求したら、看護師さんがニコリ笑って要望を出しておきますネ……と、その後やさしく却下されたのは言うまでもない。すぐ断らない所がニクイではないか……！<sup>10)</sup>

何はともあれ、お金のかかることだけに事前にしつかりと確認をしたいものだ。

## 来月号は……!

来月号は加入中の証券チェックと用語の解説をしてみよう。いよいよ虫眼鏡が必要だ……!